

蠟梅 Now

10月も後半に入るとさしもの残暑も影を潜め、どこからともなく流れてくる金木犀の香りにも秋が感じられる。当法人のシンボルツリー「蠟梅」も、暑い夏を越えて、さすがに瑞々しかった青葉に翳りが見られるようになり、一部に黄葉の兆しがでてきた。季節の移ろいに連れ、やがて黄葉から落葉に至り、相前後して花芽が顔を覗かせ、それが蕾へと膨らみを増し、来年の1~2月には馥郁とした香りの可憐な花を咲かせることになる。

この夏に気がついた奇妙な形をした果実は、秋枯れで外見が蓑虫のように変貌して数十個はあるだろうか、あの可憐な花からは想像しにくい風貌である。一つ摘んで殻を割ってみると、中には小豆色の紡錘形に近い種が数個見られた。ネットで調べてみると種蒔きにはやや時機を失した感はあるが、トライしてみることにした。三週間前後で発芽するとあり、新たな楽しみができたが、はて、どうなることやら……。



黄葉の兆しが



秋枯れの果実



割ってみると

《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信

〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7

TEL & FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)

E-mail : info@npo-ffk.or.jp

URL : <http://www.npo-ffk.or.jp>